赤松防災マップ

赤松校区自主防災実践本部

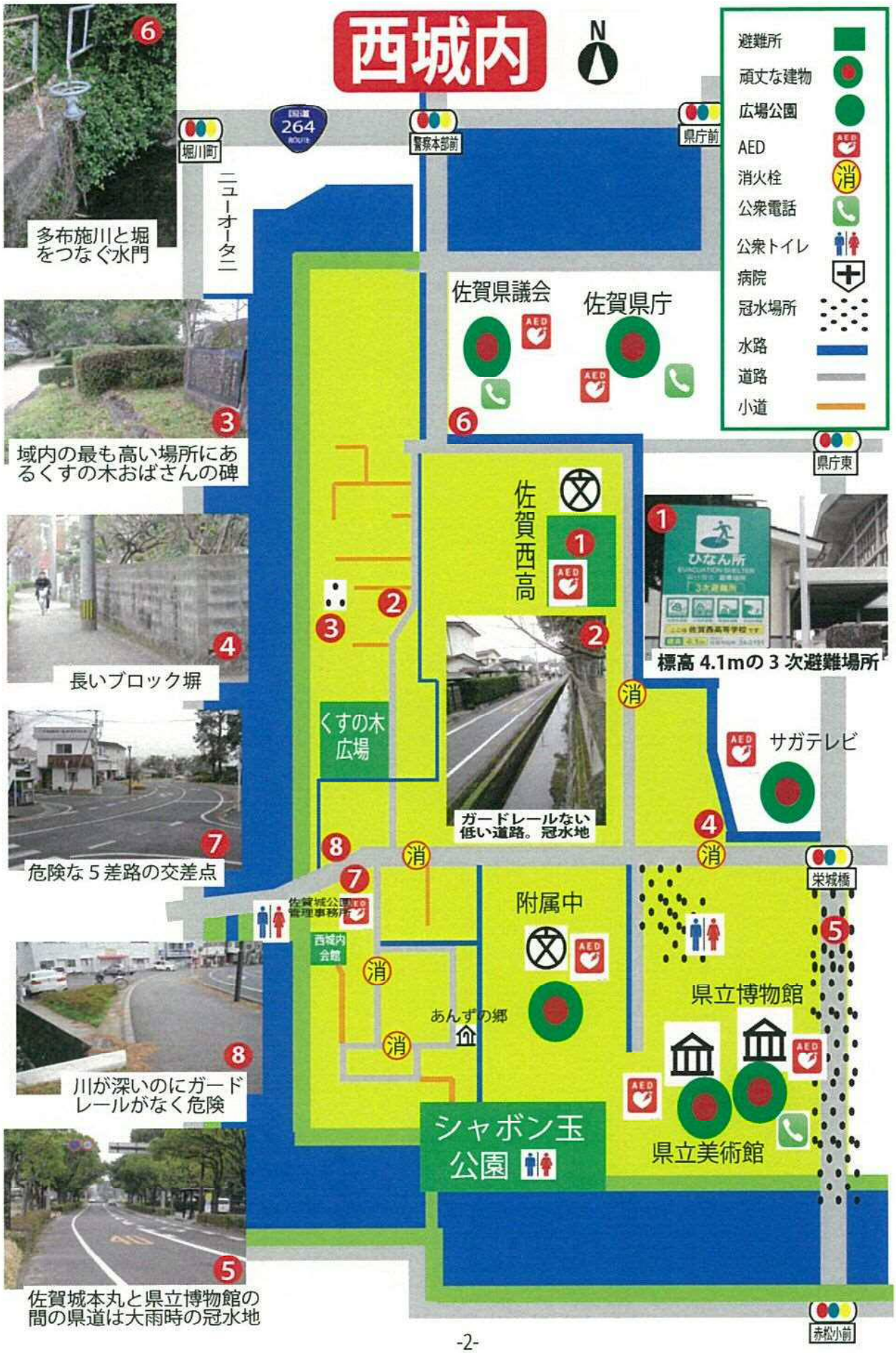
はじめに

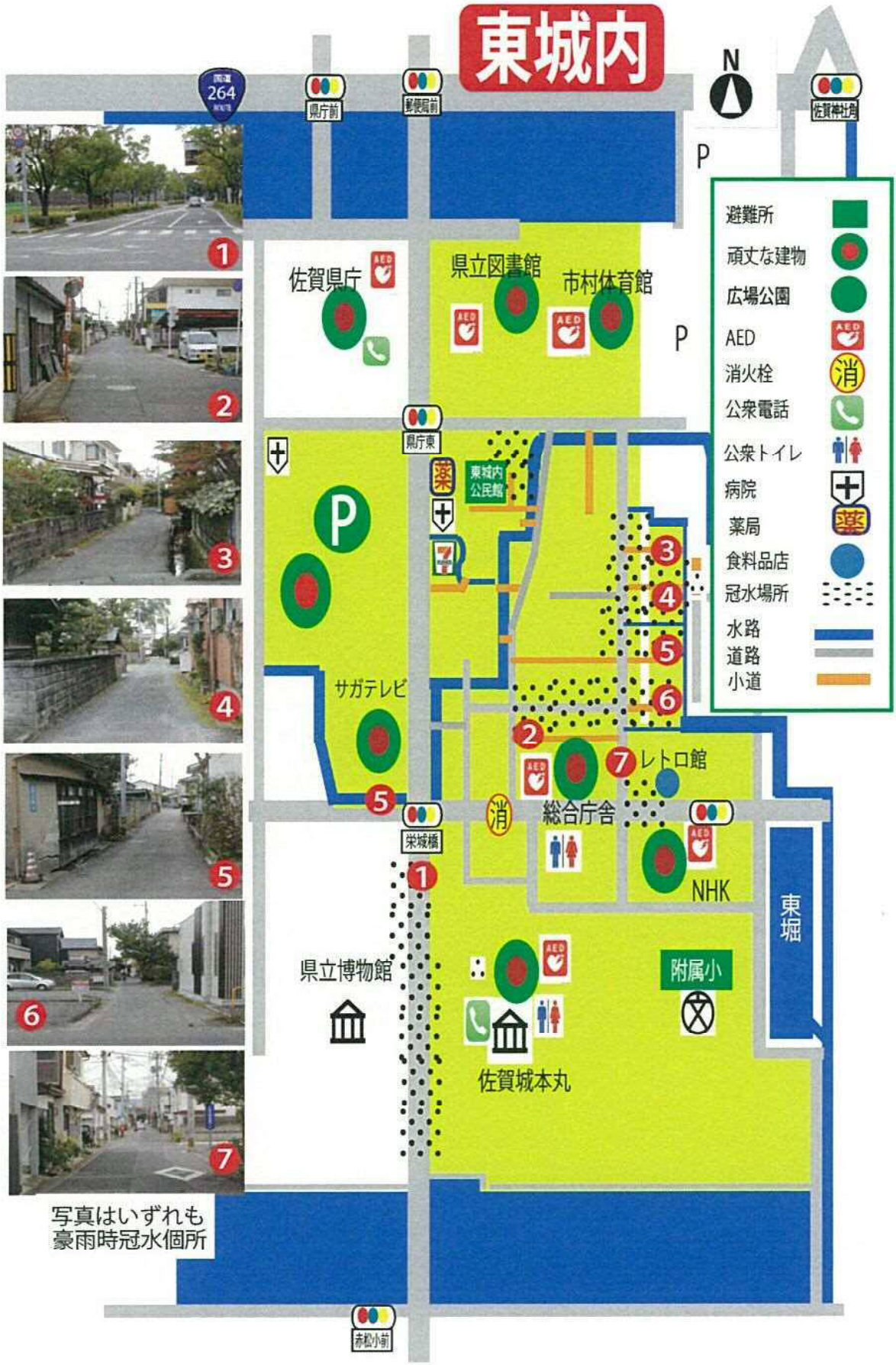
東日本大震災(平成23年)を対岸の火事とせず、万一の事態に備えておこうと、赤松校区では平成26年度から防災対策フォーラムを立ち上げ、研修や訓練を重ねてきました。その後、熊本や鳥取で大きな地震、新潟では大火災が発生し大勢の方が避難生活を強いられる姿を目の当たりにし、私たちの訓練も熱が入りました。けが人の出血の止め方や、電池と金たわしで火をおこす方法も学びました。そして自治会ごとに手分けして域内の危険個所を点検、それらの場所を写真に撮り、避難場所や病院、公衆電話などを網羅した防災マップ（Ａ４版、16ページ）を発刊するはこびとなりました。ライフラインが止まった時の対処法や避難時に持ち出すリュックの中身、安否確認の方法なども掲載。かかりつけの病院や担当医、血液型や既往症を書き込む情報シートも付けました。室内の目立つところに置き、いつでも取り出せるようにしておいてください。

防災マップ発刊に至ったのを機に、防災対策フォーラムは「赤松校区自主防災実践本部」に改称、本部長に校区自治会長会の蘭晴男会長の就任を決めました。現在、校区を挙げて組織づくりを進める「まちづくり協議会・あんしん部会」と密に連携し、地域防災の中核部隊として機能していくことになります。

◇ 目 次 ◇

西城内 …… 2
東城内 …… 3
新　道 …… 4
北　水 …… 5
南　水 …… 6
東　水 …… 7
中の館 …… 8
鬼　丸 …… 9
南堀端 …… 10
北堀端 …… 11
与賀町 …… 12
排水対策の現況 …… 13
「自助」が基本 …… 14
情報シート …… 裏表紙


西城内
N
避難所
頑丈な建物
広場公園
AED
消火栓
公衆電話
公衆トイレ
病院
冠水場所
水路
道路
小道
国道264
堀川町
警察本部前
県庁前
県庁東
ニューオータニ
佐賀県議会
佐賀県庁
佐賀西高
くすの木広場
ガードレールない低い道路。冠水地
標高 4.1mの 3 次避難場所
サガテレビ
栄城橋
附属中
佐賀城公園管理事務所
西城内会館
あんずの郷
県立博物館
県立美術館
シャボン玉公園
赤松小前
多布施川と堀をつなぐ水門
域内の最も高い場所にあるくすの木おばさんの碑
長いブロック塀
危険な５差路の交差点
川が深いのにガードレールがなく危険
佐賀城本丸と県立博物館の間の県道は大雨時の冠水地


東城内
N
国道264
県庁前
郵便局前
佐賀神社前
P
避難所
頑丈な建物
広場公園
AED
消火栓
公衆電話
公衆トイレ
病院
薬局
食料品店
冠水場所
水路
道路
小道
佐賀県庁
県立図書館
市村体育館
県庁東
東城内公民館
サガテレビ
総合庁舎
レトロ館
NHK
栄城橋
県立博物館
附属小
佐賀城本丸
東堀
赤松小前
写真はいずれも
豪雨時冠水個所

N
新道
国道264 ROUTE
佐賀神社角
片田江
宗龍寺
佐賀市民会館跡地
道路に段差あり危険
万部島公園の石垣にひび割れ
佐大附属幼稚園
AED
万部島
県立病院北
通行量多く危険
カーブで見通しが悪い通学路
水位計
赤松校区で最も地盤が低い場所
道路に段差あり危険
青谷高校北

北水

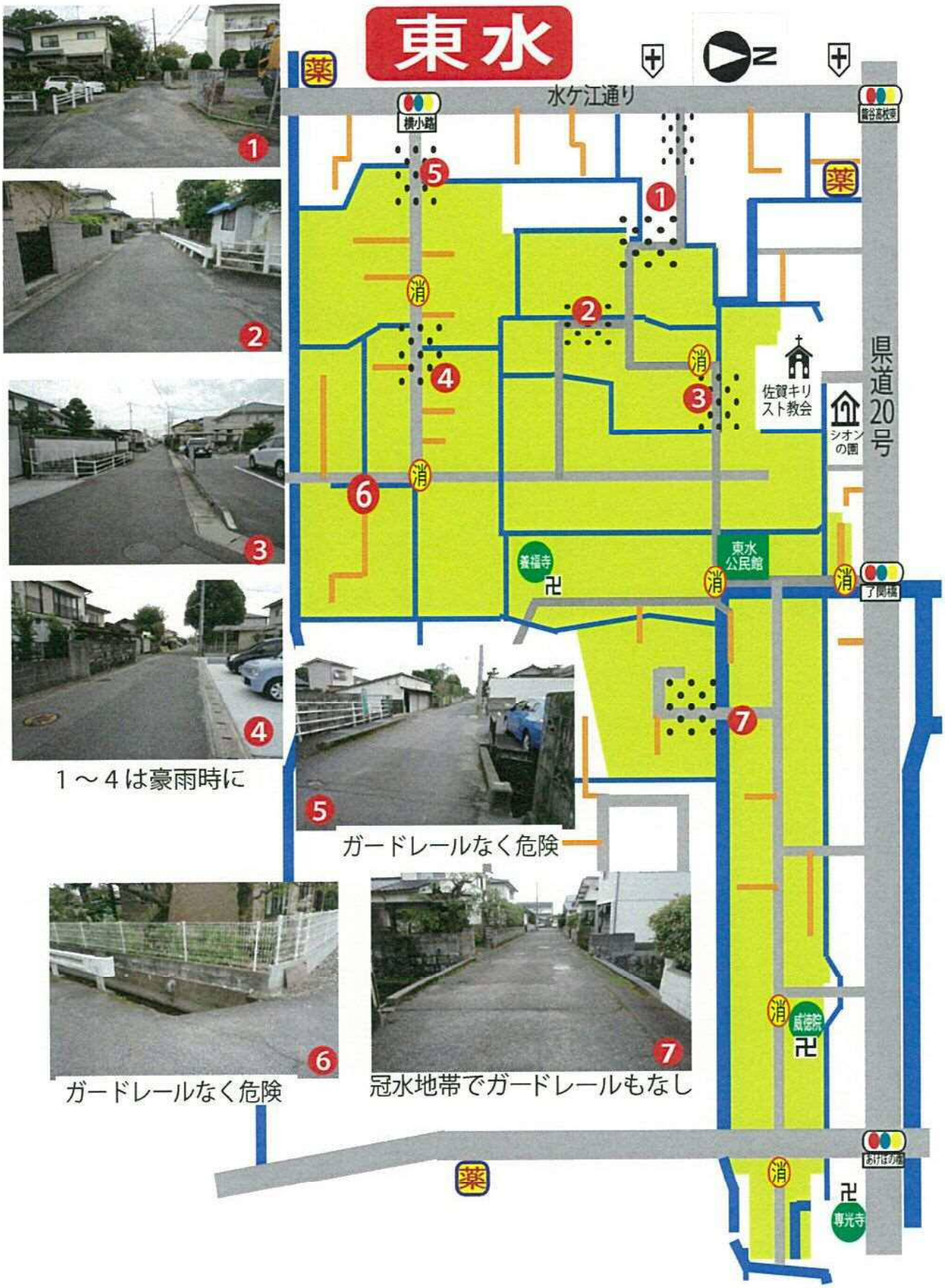
電柱、並木、街灯が重なり歩行者から車の動きが見えにくい

奥の駐車場から大通りに出る車が歩行者や自転車と接触する事故が絶えない

歩道のタイルが滑りやすく危険

横断歩道なく危険

南水
N
避難所
頑丈な建物
広場公園
AED
消火栓
公衆電話
公衆トイレ
病院
歯医者
薬局
介護施設
消火機庫
冠水場所
危険個所
水路
道路
小道
龍谷高校
龍谷子ども園
金光教
南水公民館
水ケ江通
横小路
妙法寺
水ケ江大橋
豪雨時冠水の恐れ
ブロック塀倒壊が心配
豪雨時冠水の恐れ
豪雨時冠水の恐れ
増水したら川と道の境界がなくなる


東水
水ケ江通り
横小路
薬
消
佐賀キリスト教会
シオンの園
県道20号
養福寺
東水公民館
了岡橋
あけぼの橋
専光寺
1～4は豪雨時に
ガードレールなく危険
ガードレールなく危険
冠水地帯でガードレールもなし

中の館
避難所
頑丈な建物
広場公園
AED
消火栓
公衆電話
公衆トイレ
病院
歯医者
薬局
介護施設
消防機庫
豪雨の際の侵入禁止
食料品店
冠水場所
危険個所
水路
道路
小道
ガードレールないうえ
豪雨時は冠水
ガードレールなく危険
本丸通り
赤松小前
赤松小
体育館
南
堀
圓蔵院
赤松公民館
光円寺
中の館
公民館
乾亨院
ガードレールなく危険

鬼丸

ガードレールがなく危険

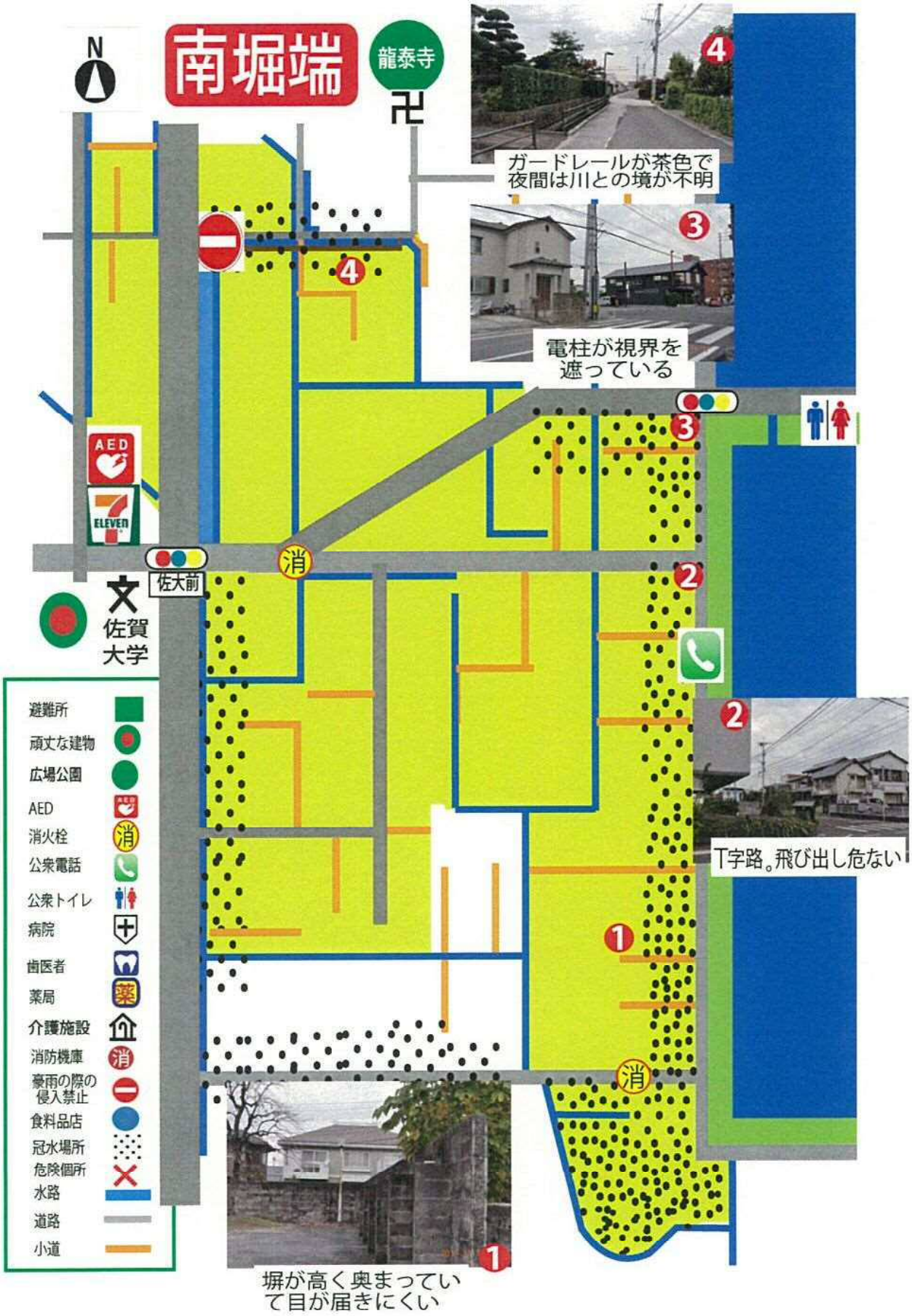
ガードレールがなく危険

ガードレールがなく危険

ガードレールがない

自動車と自転車の接触事故２回

朝夕の交通量多く危険


N
南堀端
龍泰寺
ガードレールが茶色で
夜間は川との境が不明
電柱が視界を
遮っている
AED
ELEVEN
佐大前
佐賀
大学
T字路。飛び出し危ない
塀が高く奥まってい
て目が届きにくい
避難所
頑丈な建物
広場公園
AED
消火栓
公衆電話
公衆トイレ
病院
歯医者
薬局
介護施設
消防機庫
豪雨の際の
侵入禁止
食料品店
冠水場所
危険個所
水路
道路
小道

北堀端
youmeマート
与賀町
辻の堂
堀川町
国道264 ROUTE
警察本部前
youme マート
ホテルニューオータニ
与賀神社
延命院
浄土寺
立正校成会
龍泰寺
佐大通り
AED
ELEVEN
佐大前
佐賀大学
豪雨時に冠水
避難場所の立正校成会
増水時に堀に排水するポンプ④と⑤
豪雨時に冠水
豪雨時に冠水

与賀町
多布施川
N
妙安寺
多布施川からの水量を
調節する辻の堂の井樋
豪雨時冠水個所
与賀町
辻の堂
堀川町
国道
264
ROUTE
ゆめマート
佐大通り
ヴィジョン
光照寺
ニューオータニ
与賀神社
延命院
スタバ
浄土寺
立正
佼成会
龍泰寺
豪雨時冠水個所
避難所
頑丈な建物
広場公園
AED
消火栓
公衆トイレ
病院
歯科
薬局
消防機庫
豪雨の際の
侵入禁止
冠水場所
路
路
道

佐賀市の排水対策　現況

かつては少々の雨が降ってもしっかりと水を蓄えてくれた水田が姿を消し、代わって現れた「ゲリラ豪雨」のせいで佐賀の市街地は以前に増してすぐに道路冠水や床下浸水の被害を受けるようになりました。むろん佐賀市もこの状況に手をこまねいているわけではなく、短期・中期・長期の三段構えで様々な対策を講じています。

校区内で最も地盤が低い所（新道）豪雨時（上）と平常時（右）

28年度には11億円余をかけ有明海の高潮時に排水が困難になる諸富町の水路にポンプ場を設置。同時に市街地の排水をスムーズにするため狭い水路の拡幅、改修に着手。30年度まで3年間、工事を続ける計画です。

「諸富中央雨水幹線」は高潮時には筑後川の水位が、流れ込む水路より高くなるため排水できなくなるので、この状況を回避するため毎秒4トンを排水できるポンプを設置しました。この結果、筑後川につながる佐賀江川の水位が下がり、赤松校区の浸水被害も減ると期待されます。

このほかJR佐賀駅南の水路「新村愛敬雨水幹線」では、かつて農業用水利用目的で意図的に狭くしていた部分を、現在は必要ないとの判断などで拡幅、改修。市街地の排水につなげます。

南堀には流入防止ゲート

赤松で実施されているゲリラ豪雨のもう一つの対策が、南堀の流入防止ゲート。貯水能力は西堀と合わせ34,000㎥ですが、豪雨で堀の水位が上がると域内の水路に逆流、冠水を招く結果になっていました。このため南堀最東端の多布施川流入口に自動開閉式の鉄のゲートを設置。ゲリラ豪雨襲来の直前にゲートを起こし（写真左）川からの流入を制御します。

この結果、南堀と西堀を合わせ12,000㎥（貯留面積85,000㎡×14㎝）の水をさらに貯えられるようになり、その分冠水を抑えられることになりました。28年夏から稼働を始めています。

災害時はまず自らを守る「自助」が基本

地震や台風などの自然災害は時として想像を超える力で襲ってきますが、日ごろから防災対策をしておけば被害を減らすことはできます。そして防災には一人ひとりが　ら取り組む「自助」、地域など身近な人同士が助け合う「共助」、警察や消防など国や自治体が実施する「公助」の３つがありますが、基本は「自助」。何より自分の無事が最重要です。自らの身の安全がなくては他の人を助けることもできません。まずは災害に備え家の安全対策を講じておくとともに、戸外で地震や津波に遭遇したときの身の安全の確保の方法を知っておくことが重要です。

家の中の安全対策万全に

大きな地震に見舞われると倒れた家具でけがをしたり、亡くなったりするケースが多く報告されています。①タンスや食器棚はストッパー、L字型金具などで固定②懐中電灯やホイッスル（万が一の際に救助を呼べる）、スリッパ（割れたガラスを踏まないで済む）などを手の届くところに置いておく―なども心掛けておきましょう。

ライフライン停止に備える

電気や水道、通信などのライフラインが止まることにも備えが必要です。飲料水や非常食、携帯ラジオなど避難生活で必要なものをリュックに詰め、いつでも持ち出せるようにしておきます。

リュックの中身の例

①飲料水＝1人で1日3ℓを目安に3日分②食料＝ごはん（アルファ米など1人5食分）、乾パン、缶詰、板チョコ、カップ麺など1人3日分③下着、衣類④マッチやろうそく、カセットコンロ⑤ティッシュやトイレットペーパー⑥救急用品⑦印鑑や預金通帳、現金などの貴重品⑧携帯ラジオ（予備の電池も）、懐中電灯⑨毛布、タオルなど。

安否確認

大災害の発生時には別々にいる家族同士が、互いの安否を確認できる方法を今のうちに決めておくことも大事。ＮＴＴ西日本では災害用伝言ダイヤル「１７１」（災害時のみの音声録音サービス）のほかにウェブメール用を用意しており、災害時ではなくても体験版などもあるので、ぜひ練習しておくことをお勧めします。むろんドコモなど携帯各社のサービスもあります。携帯ラジオ、特にＦＭ放送は阪神大震災で、他の情報サービスが機能しない中で大活躍しました。ちなみにＦＭ佐賀の周波数は「77.9ＭＨｚ（メガヘルツ）」、えびすＦＭは「89.6ＭＨｚ」、NBC 佐賀 FM「93.5ＭＨｚ」です。

情報シート

●家族一覧

ふりがな
氏名
生年月日
性別　男・女　血液型
持病・アレルギー
常備薬

ふりがな
氏名
生年月日
性別　男・女　血液型
持病・アレルギー
常備薬

ふりがな
氏名
生年月日
性別　男・女　血液型
持病・アレルギー
常備薬

ふりがな
氏名
生年月日
性別　男・女　血液型
持病・アレルギー
常備薬

ふりがな
氏名
生年月日
性別　男・女　血液型
持病・アレルギー
常備薬

●かかりつけの病院

氏名
病院／科
担当医
電話番号

氏名
病院／科
担当医
電話番号

氏名
病院／科
担当医
電話番号

● 緊急連絡先（☎ 住所 メール メモなど）

赤松防災マップ
発行　佐賀市立赤松公民館（館長　古賀洋）
協力　赤松校区自主防災実践本部
監修　田中英雄(佐賀県防災士・西城内自治会長)
（平成２９年３月発行）